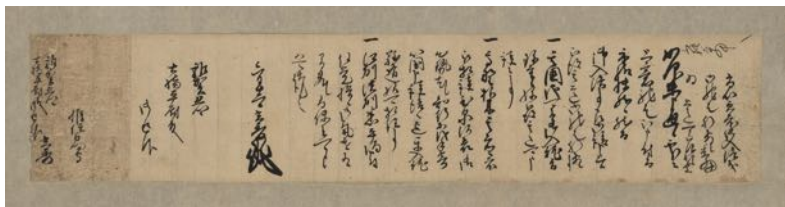


特別公開 明智光秀書状



みのかも文化の森では所蔵する史料を紹介する展覧会「楽しくなる古文書」(仮)を2020年の春(4月～6月頃)に開催する予定です。そこでの展示に先立ち、NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」に関連して話題となっている「明智光秀書状」(天正10年・土橋重治あて)を次のように特別公開します。

●期 間 2020年1月12日(日)、13日(月)祝
9:00～17:00
●会 場 常設展示室内

観覧無料

現在開催中

収蔵品展 minokamo city museum

ていねいな暮らしと道具展

2020
会期 ～3/15日 会場 民具展示館

観覧無料

美濃加茂市民ミュージアムでは、美濃加茂市内はもとより近隣各地の方から寄贈いただいた、昔の暮らしのなかで使われていた道具などの民俗資料を所蔵しています。
ていねいな暮らしと道具展では、その所蔵品のなかから昔の道具を展示し、来館者の皆さんとともに道具の不思議やおもしろさを考える機会にしたいと思います。
この展示を通して、暮らしの移り変わりや暮らしぶりを知り、使っていた人々のぬくもりや息吹を感じていただければ幸いです。

ていねいな暮らし講座

「今の時代に、忘れかけているもの」

日 時：2020年2月20日(木)
13:30～15:00

会 場：まゆの家(生活体験館)

参加料：100円

定 員：20名

内 容：火鉢とこたつを囲んで、佐野綾目さん(美濃加茂市伊深町在住)の楽しいお話をお聞かせ。



展示の様子

申込期間：1/7(火)～1/28(火) ※申込み方法は中面「事前申し込みについて」をご覧ください。

特集 後藤秀樹 陶展

床の間を離れて。

●会 期 2019年12月14日(土)～2020年1月30日(木)
[会期中の休館日] 12月16日、12月23日、12月29日～1月3日、6日、14日、20日、27日

●会 場 美術工芸展示室

観覧無料

関連企画

アーティストトーク

2019年12月15日(日)
14:00～15:00
[会 場] 美術工芸展示室
[参加料] 無料

ワークショップ

「体感陶芸 原土で遊ぼう」

2020年1月26日(日)
13:00～16:00
[会 場] 陶芸室(定員20名)
[参加料] 無料
[持ち物] エプロン、タオル
*当日12時半から受付します。
直接会場へお越しください。

会員募集中

みのかも かるちすとくらぶ

「みのかも かるちすとくらぶ」は、「みのかも文化の森」と「美濃加茂市文化会館」の催しをもっと楽しんでいただくために、たくさんの特典をご用意しています。皆様のご入会をお待ちしています！

こんな特典があります

- 美濃加茂市民ミュージアム企画展の観覧料無料(会員ご本人様のみ)
- 「ミュージアムニュース」のご自宅への送付(年4回)
- 12月に 高畠純さん(絵本作家)イラストの「アートカレンダー」をプレゼント
- 入会時に、みのかも文化の森内喫茶室「cafeミエル」の呈茶券をプレゼント
モーニングサービスにも使えます！
- 文化・芸術に触れる1日研修バスツアーへの参加(有料)
*申込者多数の場合は抽選となります。

「入会について」

①年会費 1,200円

お申し込みいただいた翌年の同月末まで有効です。

②お申し込み方法

それぞれの施設に設置してある申込用紙にご記入の上、会費を添えて窓口でお申し込みください。
郵便局、銀行振込でお申し込みいただくことも可能です。



2019年度の研修バスツアー

今年度は、「西洋の絵画等と日本の陶磁器の美に触れる旅」として「ヤマザキマザック美術館」と「ノリタケの森」を訪れました。

その他詳細やご不明な点については、お気軽に各施設へお問い合わせください。
お電話での入会受付は行っておりませんので、ご了承ください。

みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

■ご利用のご案内

開館時間 9:00～17:00
(ただし、施設の貸出し利用は8:30～22:00まで)

休 館 日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)
年末年始

■1月・2月・3月の休館日

12月29日～1月3日、6日、14日、20日、27日
2月3日、10日、17日、25日 3月2日、9日、16日、23日、30日

■交通

鉄 道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由
特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分
自 動 車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス

JR美濃太田駅北口より乗車(約8分)、「文化の森」下車(12/31～1/2は運休)
文化の森・公園線(平日休日共通ダイヤ・関係のみ)

行き		帰り	
美濃太田駅北口発	文化の森着	文化の森発	美濃太田駅北口着
9:59	10:06	10:25	10:34
11:35	11:42	12:01	12:10
14:32	14:39	14:58	15:07
16:20	16:27	16:46	16:55

運日祝賃/一般 100円 中学生以下 無料

※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください
http://aiiai-bus.com/



MUSEUM NEWS

vol.96

みのかも文化の森

2020年1/5発行



森

森の観察日記 45

メジロ(メジロ科)



美濃加茂のあたりでは、市街地の庭先や公園、山林などで見られます。眼の周囲が白いことが「メジロ」という名前の由来になっていることは有名ですね。写真は文化の森の南駐車場の近くのヤマガキにやってきたときの様子。

BUNKANOMORI EXHIBITION !

岐阜大学・美濃加茂市民ミュージアム連携企画展

岐阜大学コレクション展

ー「岐阜県」を知るためにー

●会 期 2019年12月14日(土)～2020年3月1日(日)

[会期中の休館日] 月曜(1月13日、2月24日は開館。翌日は休館。)
12月29日(日)～1月3日(金)

●会 場 企画展示室

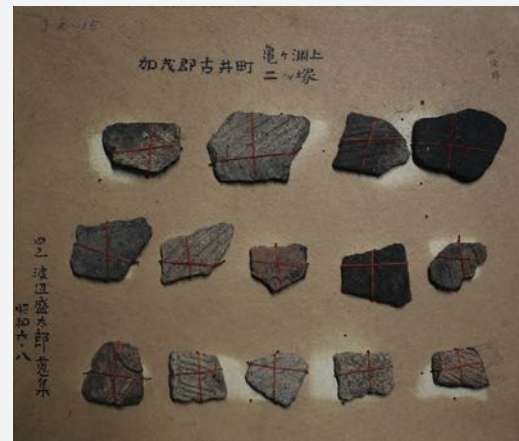
●観覧料 無料

観覧無料

岐阜大学の各学部には、古文書等の歴史資料や植物標本をはじめ、多くの貴重な学術資源(資料)があります。2019年の大学創立70周年を契機に、資料等を今後も大切に守り、伝え、活用するための「岐阜大学学術アーカイブズ」が設立されました。これらの資料等は、学生が学ぶ教材として、また長年の調査研究の成果、地域の財産として収集・蓄積されてきたものです。私たちの「岐阜県」を知るためにかせないものと言えるでしょう。
美濃加茂市民ミュージアムと岐阜大学会場*の展示では、美濃加茂周辺、県内各地の「地域」に関わりの深いもの、学生の学びに役立てられたものを中心に紹介します。それらは、私たちの「まち」を知るための様々な視点・素材であり、各時代に資料を集め・守り・伝える人々の姿があることに、モノから思いを馳せる機会となれば幸いです。

【岐阜大学・美濃加茂市 地域連携協定該当事業**】

主催：岐阜大学学術アーカイブズ 美濃加茂市民ミュージアム



縄文土器・「加茂郡古井町」出土
昭和6年採集

岐阜大学教育学部郷土博物館所蔵

forum & event	●日時	●会場	●内容
ミュージアムトーク	12月15日(日)、12月18日(水) 1月19日(日)、1月29日(水) ①11:00-12:00 ②13:30-14:30	企画展示室	展示解説:当館学芸員 ■参加無料 ■当日受付
ミュージアムフォーラム 「岐阜大学の授業」	2月22日(土) ①13:00-14:00 ②14:20-15:20	研修室	「地域」に関する専門的な調査研究等の、わかりやすい授業です。 ①「地域の歴史と「郷土」教育」 講師:早川 万年 氏(元岐阜大学教育学部教授【歴史学】) ②「岐阜県×地理学 一人の生活と自然の関わり」 講師:橋本 操 氏(教育学部准教授【地理学】) ■定員:40名 ■対象:高校生以上 ■参加無料 ■当日受付(開始30分前から先着順)
バスツアー 「岐阜大学 アーカイブ・コア」	2月6日(木) 10:00-14:30	【集合場所】 エントランスホール [美濃加茂市バスに乗り]	考古資料(出土品)等の人文系資料、骨格標本や剥製標本等の自然史系資料のほか、未来へ残すべき貴重なものが大学図書館内で収蔵、展示されているアーカイブ・コアの「PRAETER プラエテル」を訪ねます。 ■定員:20名 ■対象:高校生以上 ■参加無料 ■事前申込 文化の森講座の申し込みと同じです。 申し込み期間:12/14(土)～1/5(日)

*2020年3月25日(水)～4月30日(木)予定

**2015(平成27)年、岐阜大学と美濃加茂市は地域連携協定を締結しました。現在、7つの分野について連携し、協力を進めています。本事業は、特に「(5)教育、文化及びスポーツの振興」に位置づけられるものです。



事前申し込みについて はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。 ■右のQRコードからもお申込みできます。→

イベント minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
1/18(土) 14:00～15:00	第201回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	市民による朗読です。 作品:「穴のある街」 別役 実/作 『淋しいおさかな 別役 実 童話集』より 作品:「望潮」 村田喜代子/作
2/ 8(土) ～3/22(日)	収蔵品展	美術工芸展示室	無料	—	美濃加茂市民ミュージアムの収蔵品の中から美術工芸作品を展示します。
2/15(土) 14:00～15:00	第202回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	市民による朗読です。 作品:「うさぎ屋のひみつ」 あわ なおこ 安房直子/作 『見知らぬ町ふしぎな村』より 作品:「上を向いて歩こう」 あべ美佳/作 『幸せの黄色いバス』より
3/21(土) 14:00～15:00	第203回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	市民による朗読です。 作品:「あるはれたひに」 きむら ゆういち /作 作品:「花豆の煮えるまでー一夜の物語」 あわ なおこ 安房直子/作

四季を食べる講座 minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。【持ち物:エプロン、三角巾】

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
2/ 6(木) 10:00～13:00	手作りみそ	作る作業は、なんだか楽しいし、出来あがったみそは、すごく美味しい。	当日受付 (30分前より)	生活体験館	500円	20名
2/15(土) 10:00～13:00	手打ちうどん	手作りって、やっぱり違う。	事前申込 【1/10(金)～1/24(金)】			

アートな一日講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/26(日) 13:00～16:00	体感陶芸 原土で遊ぼう	陶芸家・後藤秀樹を紹介する特集展示の関連企画ワークショップ。原土で遊びながら陶芸の原点を体感してみましょう。【持ち物:エプロン、タオル】	当日受付 (30分前より)	陶芸室	—	20名
2/16(日) 10:00～15:00	銅版画:エッチング	線描で描いた図柄を腐食させて刷る銅版画の制作を体験できます。本格的な技法を学べ、作品は2～4枚お持ち帰り頂けます。	事前申込 【1/10(金)～1/26(日)】	工芸室	2,500円	8名
3/29(日) 13:00～16:00	手ぬぐい作り	自分のイラストを使った手ぬぐいを作しましょう。	当日受付 (30分前より)	工芸室	800円	20名

ていねいな暮らし講座 minokamo city museum

生活体験ボランティアと一緒に、昔のくらしを体験する講座です。まゆの家(生活体験館)で、ゆったりのんびり過ごしてみませんか。

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
～1/ 4(土)	年中行事 門松立て	かつてこのあたりでみられた簡素な門松を立てます。【自由観覧】	—	生活体験館	—	—
2/ 8(土)～ 4/ 3(金)	年中行事 ひなかざり	土びなをかざり、野山の花をそなえます。【自由観覧】	—		—	—

ミュージアムレポート ①

つながるプロジェクト2019「加茂高校×文化の森」

- 加茂高校と産業振興課は、進学と共に地元を離れる高校生が地域の仕事と社会を考える機会として市内で職業を学ぶ「つながるプロジェクト」を行っています。高校生との繋がり方を考えていた当館も昨年から関わり、今年は5名の生徒が文化の森を訪れました。
- 生徒達は社会教育を志す地域博物館としての視点や、学芸員や働く人の様子を見聞きし、施設全体を見学しました。9月から当館で企画展を開催していた美術家の竹田尚史さんにも会い、アトリエや企画展示室で作品の話を聞き、展示準備室や学芸員室などを巡るバックヤードツアーも行いました。

生徒の感想から・・・

- ・想像していた以上に作品には多くの人が関わっていた。(H)
- ・自分が迷っている事を作品として実物にすることで、作家さん自身も答えが見つかるようで、絵や美術との新しい関係が知れて面白かった。(I)
- ・司書や学芸員の仕事についてもっと知りたい。→資格取得方法などをしっかり調べる。(W)
- ・今の地域や自然、生きている事、宇宙に対して前はなかった違う見方ができたので、自然などについて調べたりして、今後の生活をもっと充実させていきたい。(Y)
- ・一つの仕事について深く知ることは、自分の考えや仕事に対する意識を変えることにつながると思いました。(O)



アトリエの見学



学芸員室の見学

ミュージアムレポート ②

～ 美濃加茂の偉人・津田左右吉博士記念館での催し物から ～

第35回津田左右吉賞作文コンクール表彰式(11/9)

-  小・中学生の「夢」、「津田左右吉博士」に関する応募作文516点のうち、最優秀賞ほか11名の表彰式がありました。会場の津田左右吉博士記念館は、明治初期に子ども時代の博士が育った家を移築復元した施設です。また式典後の記念公演では、みのかも「声のドラマ」の会さんから、創作「歴史学者 津田左右吉」が朗読されました。子どもたちが、ゆかりの場所で先人を学び、地域で大切に伝えられてきた津田博士について、新たに創造された作品として鑑賞した1日になりました。
- 

みのかも文化の森

ボランティア募集



「歴史やアートに関心がある」「子どもたちといっしょに活動したい」「新しく何かを始めてみたい」そんな皆さんをお待ちしています。



活動の様子



特典 みのかも文化の森が主催する他館の視察や見学会に参加できます。また、年4回ほど開催する企画展の解説会に無料で参加できます。

報酬 ボランティア活動を目的として、無償での活動となります。
(ボランティア保険に加入(手続きは不要))

申込み方法 直接ご来館の上、お申し込みください。

随時募集ですが、4月に全体説明会を予定しております。

展示ガイド	地域の調査・ミニ展示などのお手伝いをします。	アート	美術分野の講座や美術の企画のお手伝いをします。	生活体験	生活体験館(まゆの家)での講座やイベントのお手伝いをします。
学習支援	児童・生徒が文化の森で学習する際のお手伝いなどをします。	伝承料理の会	伝承料理の研究や講座のお手伝いをします。	イベント	文化の森で開催されるイベントのお手伝いをします。

*各分野5～10名募集します。